



# たか子のあつたが通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122（共産党）

## 保育園ショック！ 待機児童さらに増え！

保育士の待遇改善 保育園定員の拡大 公的保育の拡充  
安心して預けて働ける保育体制の充実を！



未満児のお姉ちゃんと2カ月児を持つお母さんの相談に応じる塩原市議



保育園2度落ちた！

働けない

市内の病院に働く看護師です。昨春秋に子どもは1歳になり、その時点で職場復帰の予定で入園を申し込みましたが落ちました。4月なら入園できるだろうと育休を半年延長しました。しかし今度も落ち「待機児童」になりました。

私は県外出身者で、夫も地元ではないので近くに親族はいません。入園申込み時期に体調を崩し申込みが一カ所しかできなかったことや、人気のある園だったから落ちたのかと考えました。でも周囲には何か所か申し込んでも入園できなかつた人がいます。

松本市は一歳児3人を1人の保育士がみてくれます。預ける側としては安全な保育は守りたいですが、他市町村の様に6人に1人なら入園できて働けたかとも思うともどかしくなります。

保育士さんの待遇を良くし、保育にかける市の予算を増やせば保育士さんが増えると思います。行政は親の願いにこたえて、保育士さんを増やしてほしいです。

(H.S)



子育てしやすい

松本市を

### 待機児童ゼロに向けて

**質問**…令和5年度の待機児童は5人、潜在的待機児童は49人だった。予想される待機児童数とそれに見合った保育士の確保が出来ているのか？

**子ども部長**…待機児童は調整中。保育士が47人退職予定で、まだ13人不足。未満児の保育の申し込みが多い為、に相当数の保育士の確保が出来ないと待機児童の解消は困難。

**質問**…なぜ多数の保育士が退職するのか検証する必要がある。正規保育士を抜本的に増員すべきではないか？

**市長**…正規保育士は3年間かけて27人増員し、276人になっている。職員定数が決められているので、これ以上正規保育士を増員は出来ない。短時間パート保育士や、会計年度保育士を合わせて待機児童を解消していきたい。



### 未満児保育の無料化を

**質問**…長野県は所得に応じて第3子は無償、第2子は半額にしようとしている。市が補助をして未満児全てを無償化すべきと考えるが如何？



**市長**…人口定住化に向け第2子以降無償化を実施したい。課題は保育需要が高まる事が予想されることだ。

### お金の心配なく

### 子育て支援センター

**質問**…子育て世帯の貧困率が高く、特にひとり親世帯貧困率は、54%だ。私立高校入学には入学金15万、制服代10万が必要で大変になっている。



育英奨学金を借りる審査は学力点基準がある。それを無くして、入学前支給にして欲しい。

**教育次長**…学力点を無くす方向で調整する。入学一時金も支給時期を早めることを検討する。

### 給食費無料化を求める請願



「学校給食無料化をめざす松本みんなの会」から出された請願は経済文教委員会で審査されました。

その中では「自分で食べるものにお金を払うのは当然」「市の財政から11億円も出すのは厳しい」という意見で、不採択となりました。

しかし閉会日の審議では、14人の議員が無料化に賛成しました。あと2人賛成があれば採択に持ち込めました。

学校給食は単なる食事の提供ではなく教育の一環であり、憲法の定める義務教育の無償化に向けた一歩だという市民の声と運動が議会にも届いてきたことを感じます。

全国の無料化の流れの中で「国が財政措置すべ」きという意見書は全会一致で採択されました。

### 就学援助制度

**質問**…所得に応じて利用できる就学援助制度。ハードルを下げて利用できる世帯を増やしたい。認定基準

を生活保護基準の1.5倍以下から1.4倍に下げたため189人が対象から外れてしまった。安曇野市、千曲市、上田市は1.5倍以下になっている。もとに戻すべき。又、入学用品費の支給を早めてほしい。

**教育次長**…19市の中では上位に位置して認定範囲は広いので見直しは考えていない。入学用品費は3月上旬だが、もう少し早めることが出来ないか検討する。

### 6年度予算可決

市長選挙前のために骨格予算。

★介護保険料は市民の運動が一部実り、基準額が月5890円が5780円になり、110円引き下げになりました。介護保険準備基金を活用して低所得世帯は引き下げになりますが、高所得者は引き上げになります。

★赤字の地域包括支援センターが複数箇所あり、何度も委託料を上げるように要望してきました。やっと人事院勧告分の人件費の値上げということ、150万円程委託料増額になりました。

## 民主的な 市政運営を望む

**市議員選**は投票率44・67%で過去最低でした。投票所の増設や移動投票所の増設、若者へのアプローチが必要ではないでしょうか。

選挙中はコロナ後の物価高騰から「いのちと暮らし」を守るという争点が無かったと感じています。

**477票の僅差**で、17・5%の支持であることを自覚して市政運営をして欲しいと強く思います。

また「シンカを止めない」というキャッチコピーは具体的に何をイメージしているか疑問です。

「職員・議会・意思疎通いかに」とマスクミに書かれたように、今後市民を真ん中にした民主的な市政運営を行うかどうかが問われています。



### お悔み

3月1日元市議の南山国彦さんが病氣療養中に亡くな

りました。あまりにも突然のことで残念でなりません。五期二十年にわたり市会議員を務められた南山さんから議席を引き継ぎましたが、教えて頂きたいこと

がまだまだ沢山ありました。南山さんの分まで、身を引き締めて議員活動を頑張つて参ります。

ご冥福をお祈りいたします。  
塩原孝子

### 災害に強いまちづくりを

市長選各候補の公約で違いがはっきりしていたのが「防災」。能登地震の被害復旧が遅れ、被災者の様子に心を痛めていた時で、関心を持って読みました。



現職がまず掲げたのはネット等を使った情報伝達手段でした。いや、そうではないでしょ？被災地は、ライフライン、衣食住すべてが奪われ、ネットは使えません。

学校を避難所にするなら体育館に冷暖房設備を設置し、洋式トイレを増やしてほしいです。

自校給食があれば食事の提供もスムーズでしょう。

行政は「その時」のために日ごろから専門家を交えて準備すべきです。

(中山 T)

### 弱者にやさしい交通システムを

整形外科などに月二・三回通わなければなりません。タクシードが一万五千元ほどかかり、年金だけで生活が苦しい状況です。「のーと」は近くのスーパードでの乗降でしたが一回三百円でも助かります。並柳エリアにも拡大してほしいです。(並柳 S)

## 市政に

## 望む



### 安心できる介護制度を

介護保険制度は4月の改定で、処遇改善加算金により職員の給与は若干増えますが、ヘルパー事業所の介護報酬は減額となります。この数年間で中小介護事業所の倒産・閉鎖が増え続け、介護職員不足は深刻です。介護人材が増える政策をすすめてほしいです。

また最近はや介護認定が以前より低いランクにされ、「同居家族」がいると生活援助（調理や掃除・洗濯などの支援）は受けられないなど、市は国の方針に従って動いています。

市民が地域で安心・快適に生活できるようにするのが市政の最も大切な役割です。国が進める市民に不利益になる制度を改善することを市政に求めます。(ケアマネ U)

### 子育て支援

### 環境に配慮した街を

①子育て中です。物価高もあり経済的な支援を求めます。医療費の窓口負担の軽減、

学校給食の無償化、

保育料の引き下げなどを期待します。

②パルコの後利用に年3億円の税金を使ことに反対です。計画を白紙にして、幅広い年代の声を聞きながら進めてもらいたい。

③公共交通機関の充実・利便性の向上を実現してほしいです。公共交通はコンパクトな街作り

に寄与する移動手段だと思われ、環境負荷を考えても取り組みを進めてほしい課題です。

(寿北 I)

